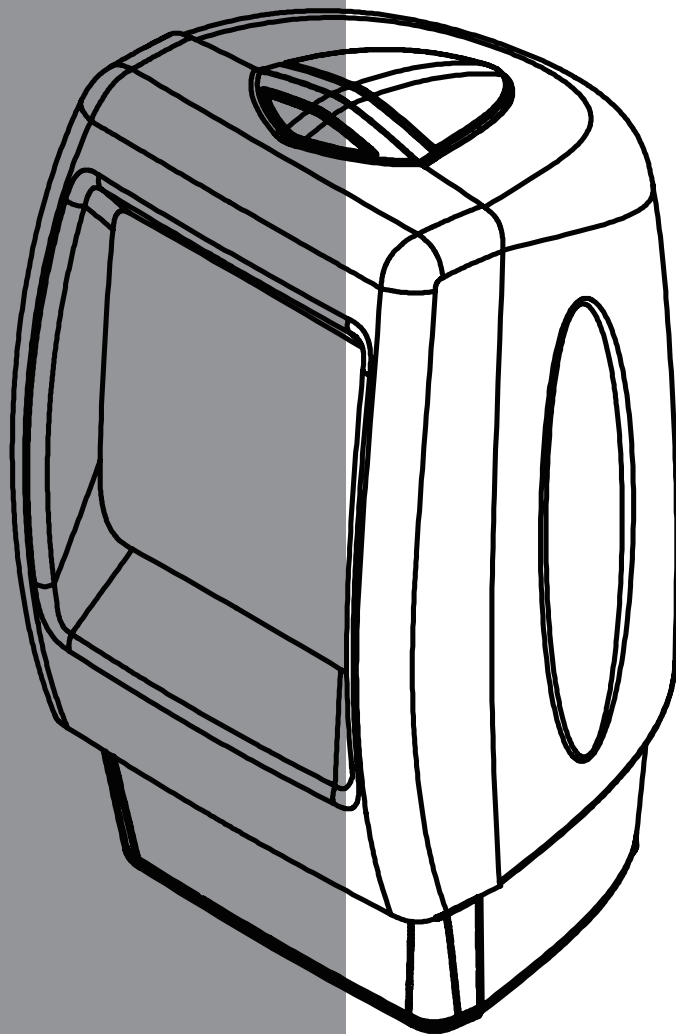


プレゼンテーションレーザスキャナ

CATCHER

< キャッチャー >-D531

取扱説明書 Ver1.00



はじめに

このたびはプレゼンテーションレーザスキャナ CATCHER(キャッチャー)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書では CATCHER の操作方法と外部機器との接続に基づく内容を記載しておりますので、必ずご一読いただきますようお願いいたします。なお、バーコードによる内部パラメータの設定方法は、別冊「ハンドヘルド・バーコードリーダー・バーコード・メニューシート」に記載していますので、そちらを参照して下さい。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末記載の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響については(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承下さい。

梱包内容

製品がお手元に届きましたら、すぐに開梱をして、以下のものがそろっているか確認して下さい。

もし、不足・破損等がありましたら、ご購入先の販売店、もしくは巻末の弊社営業担当窓口までご連絡をお願いします。

- | | | |
|----|-----------------------------|-----|
| 1. | CATCHER 本体 | 1 |
| 2. | CATCHER 取扱説明書 | 1 |
| 3. | ハンドヘルドバーコードリーダーバーコードメニューシート | 1 * |

* (通常、複数台をご購入の際は 1 セット分のみ同梱しています。複数部をご希望の際は、ご注文時にお申し付け下さい。)

表記について

本書では、バーコードリーダーを正しくお使い頂くための重要な情報について以下の様な記号を用いています。



注意

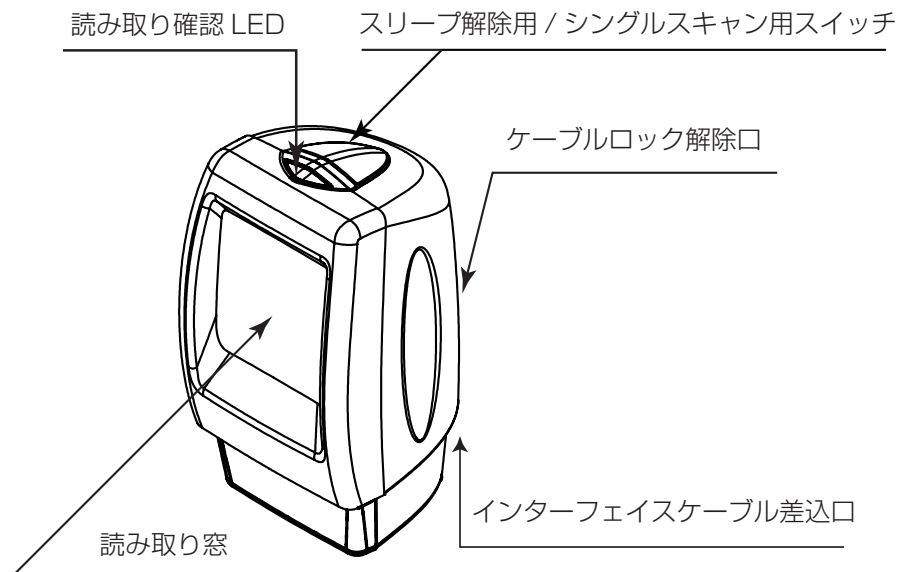
機器の破損や不具合の原因となる可能性がある事柄

目次

1.	各部の名称とアクセサリ	1
2.	CATCHER (キャッチャー) の特長	1
3.	型番一覧とアクセサリ	2
4.	セットアップ方法 (RS232 インターフェイスの場合)	2
5.	セットアップ方法 (PS/2 インターフェイスの場合)	6
6.	セットアップ方法 (USB インターフェイスの場合)	9
7.	読み取り操作方法	10
8.	ケーブルの外し方について	11
9.	読み取りエリア図	11
10.	LED とブザー音の表示について	12
11.	初期設定について	12
12.	トラブルシューティング	13
13.	保 守	15
14.	仕 様	15
15.	外形寸法図	16

1. 各部の名称とアクセサリ

● CATCHER 本体



● STD-1020



● STD-1030



2. CATCHER(キャッチャー)の特長

CATCHER(キャッチャー)は多面回転ミラーと周囲に配置したミラーとの組み合わせにより5方向20本のレーザービームが1秒間に1,500スキャン/秒の速度で照射して、読み取り窓の前にバーコードをかざすだけでバーコード読み取りが可能なプレゼンテーションレーザーキャナです。

主な特長として、

- ・ 手持ちでの操作が可能な小型サイズ
- ・ ケーブル交換でUSB/RS232/ キーボードウエッジの選択が可能
- ・ 読み取り完了時に、ブザー音と本体上部LEDで簡単に動作状態の確認が可能
- ・ 低消費電流動作が可能なスリープモードを標準で搭載
- ・ デスクトップ用置台や壁掛け用スタンド等の豊富なオプションアクセサリを用意

を有しています。

また、複数のバーコードデータの読み取りやバーコードメニューシートの読み取りにて内部設定を変更する場合には、本体上部のスイッチを押している間は1本のラインのレーザービームだけにして、読み取りを行えば、目的のバーコードを正確に読み取りが可能となります。

3. 型番一覧とアクセサリ

型式	仕様
CATCHER-D531	プレゼンテーションレーザスキャナ、マルチインターフェイス

型式	仕様
UL310-0515	専用 AC アダプタ (AC110V-240V 用)
STD-1020	CATCHER 専用デスクトップスタンド
STD-1030	CATCHER 専用壁掛け用スタンド
CAB-320	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub25 オスストレートケーブル
CAB-321	PS/2 キーボードウエッジ Y 字ケーブル PS/2 ミニ DIN ストレートケーブル
CAB-321-SH1738	PS/2 ノートブック PC 用キーボードウエッジ PS/2 ミニ DIN ストレートケーブル
CAB-327	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub9 メスストレートケーブル
CAB-328	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub25 メスストレートケーブル
CAB-350	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub9 メスストレートケーブル (電源ピン有り)
CAB-364	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub25 オスカールケーブル
CAB-365	PS/2 キーボードウエッジ Y 字ケーブル PS/2 ミニ DIN カールケーブル
CAB-362	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub9 メскарルケーブル
CAB-363	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub25 メскарルケーブル
CAB-409	RS232 インターフェイス -C-BOX 200 用クロスケーブル
CAB-412	USB-TYPE A インターフェイス用ストレートケーブル
CAB-426	USB-TYPE A インターフェイス用ストレートケーブル (電源ピン有り)

4. セットアップ方法 (RS232 インターフェイスの場合)

1. CATCHER とインターフェイスケーブルを

右図の様に接続します。

(接続はジャック式となっていますので、本体裏面の差込口にケーブルのコネクタ部を“カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)



注意

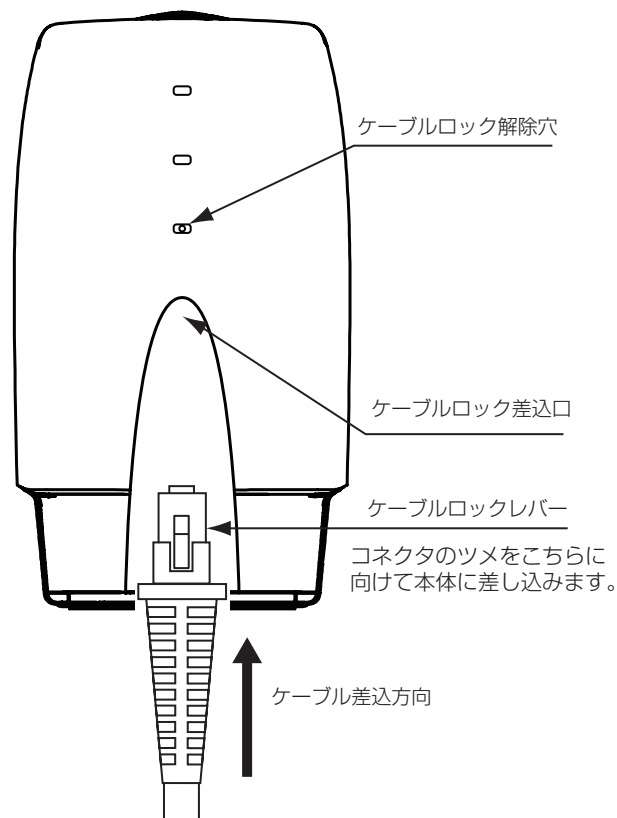
コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。

2. ケーブルの出力側コネクタと接続機器のコネクタの形状・配線が正しくなっているか次頁ピンアサインを確認して、機器と接続します。

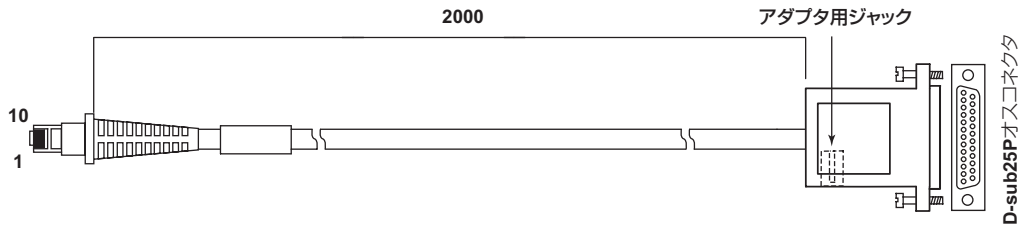


注意

必ず接続機器の電源を OFF にしてから、接続を行って下さい。

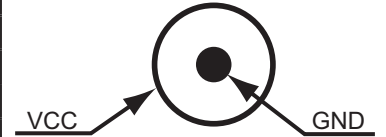


● CAB320



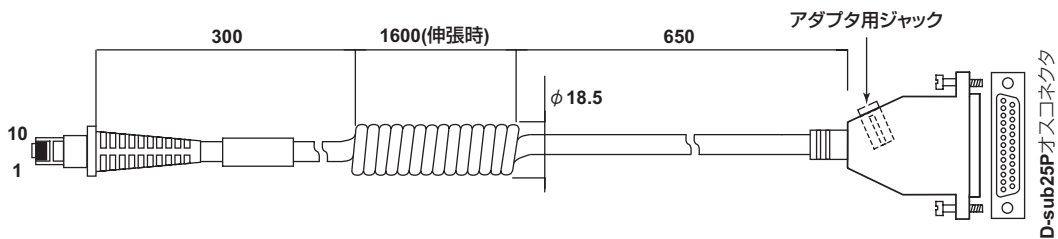
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	RTS	出力	送信要求
5	CTS	入力	送信可
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8～24	N.C.		未接続
25	VCC (*)		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン



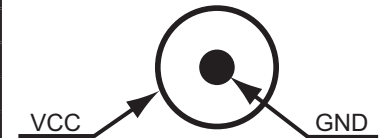
(*) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれている場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB364



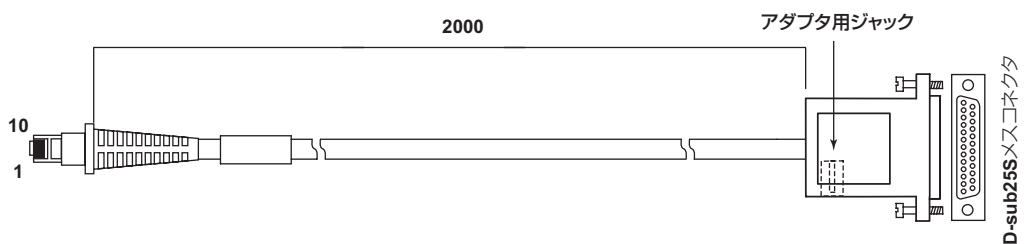
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	RTS	出力	送信要求
5	CTS	入力	送信可
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8～24	N.C.		未接続
25	VCC (*)		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン



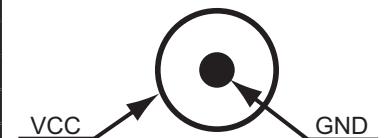
(*) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれている場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB328



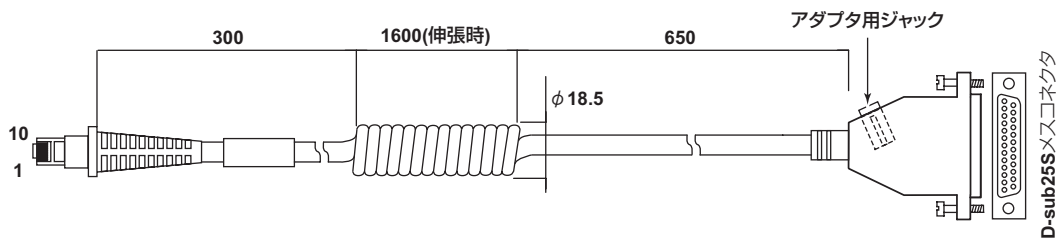
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	RXD	入力	シリアル入力
3	TXD	出力	シリアル出力
4	CTS	入力	送信可
5	RTS	出力	送信要求
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8～24	N.C.		未接続
25	VCC (*)		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン



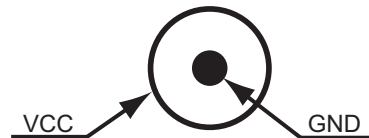
(*) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれている場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB363



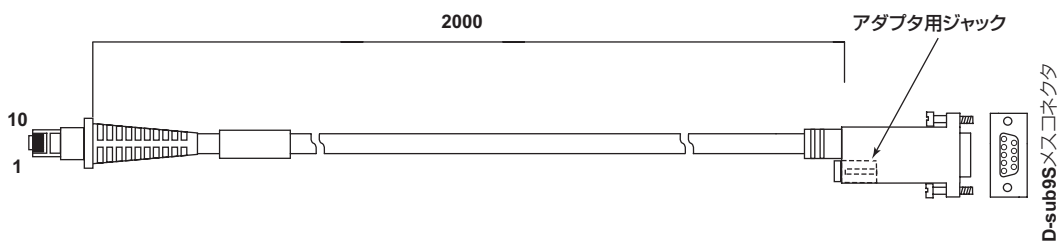
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	RXD	入力	シリアル入力
3	TXD	出力	シリアル出力
4	CTS	入力	送信可
5	RTS	出力	送信要求
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8～24	N.C.		未接続
25	VCC (*)		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン



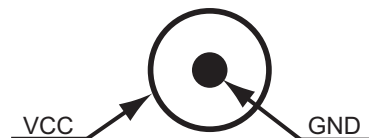
(*) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれている場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB327

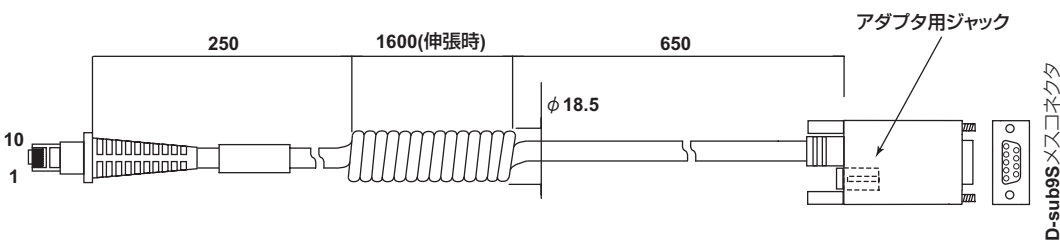


ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	N.C.		未接続

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

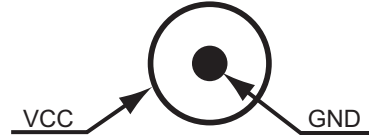


● CAB362



ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	N.C.		未接続

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

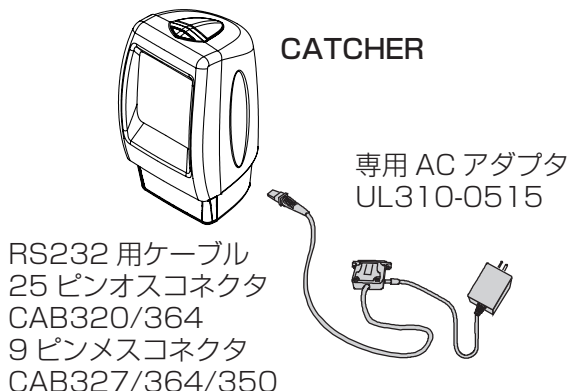


● CAB350



(*) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれている場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

3. 接続機器からスキャナへ電源供給がない場合や供給される電源容量が足りない場合には、CATCHER の D-sub コネクタカバーにある、AC アダプタ用ジャックに別売の専用 AC アダプタ (UL310-0515) を接続します。



! **注意**

電源投入時に CATCHER の低音ブザーが "プププ" と 4 回鳴ることを確認して下さい。もしブザー音が鳴らなかったり、その他のブザー音がした場合は CATCHER の動作に問題がありますので「12. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

4. 以下のバーコードを読み取ると RS232 インターフェイスでの通信が可能となりますので、使用するインターフェイスに応じたパラメータをバーコードメニューシートのバーコードを使って設定を行って下さい。



! **注意**

初期設定値は「11. 初期設定について」の章を参照して下さい。また、設定変更する場合には、別冊「ハンドヘルドバーコードリーダーバーコードメニューシート」を使用して下さい。

5. 接続機器の電源を ON にして、実際にバーコードの読み取りを行い、読み取りデータが正常に接続機器へ送信されるか確認をします。

! **注意** 正常に読み取りデータが送信されない場合は、「12. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

5. セットアップ方法 (PS/2 インターフェイスの場合)

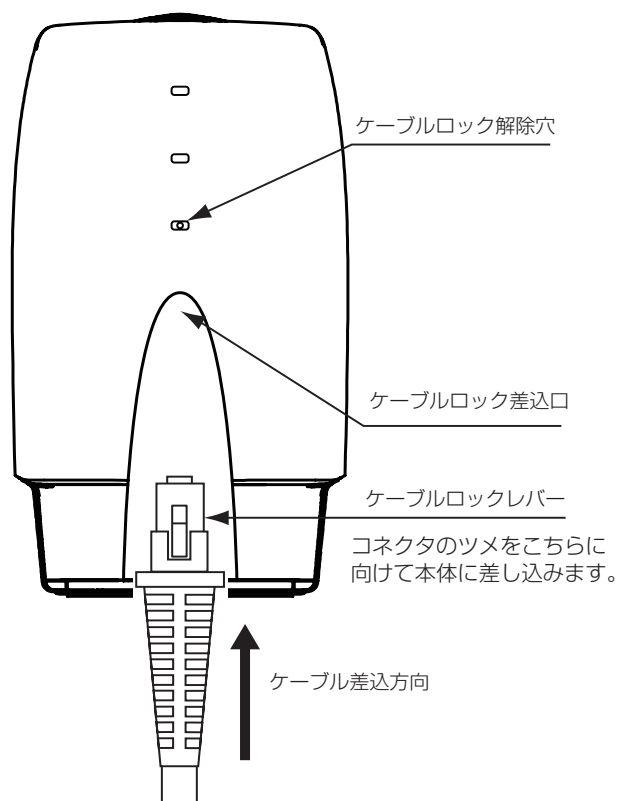
1. CATCHER とインターフェイスケーブルを接続します。

(接続はジャック式となっていますので、本体裏面の差込口にケーブルのコネクタ部を“カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)



注意

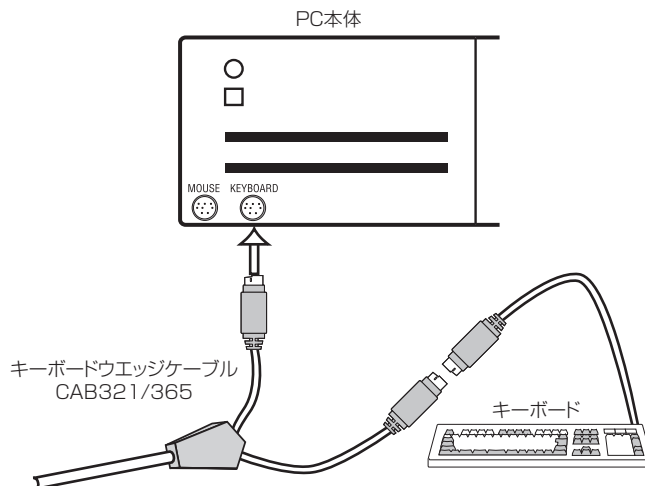
コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり、曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。



2. 右図の様にケーブルのオス側のコネクタを PC

本体のコネクタに接続して、もう一方のメス側のコネクタをキーボードケーブルの先端のコネクタに接続します。

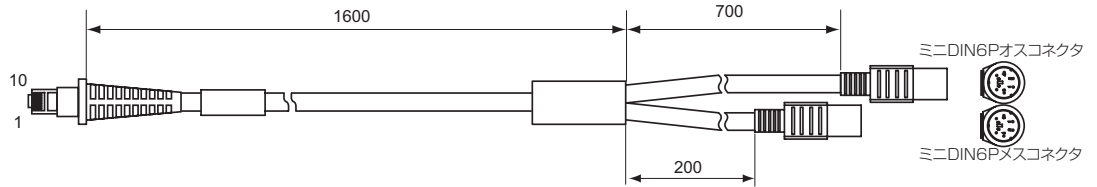
(ノートブック用ケーブルの場合、ケーブルのコネクタを PC 本体の PS/2 ポートに接続します。)



注意

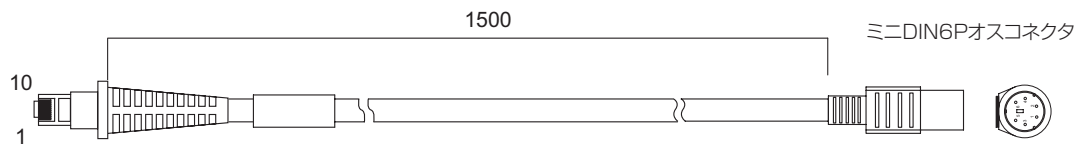
- ・ケーブルの接続時は PC の電源を OFF にした状態で接続を行ってください。PC の電源が ON のまま、ケーブルの接続を行うと、通信が不安定になり CATCHER から送信されるデータが PC に入力できない場合もあります。
- ・PC の電源投入時に CATCHER の低音ブザーが“プププ”と 4 回鳴ることを確認して下さい。
- ・ブザー音が鳴らなかったり、その他のブザー音がした場合は CATCHER の動作に問題がありますので「12. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

● CAB321



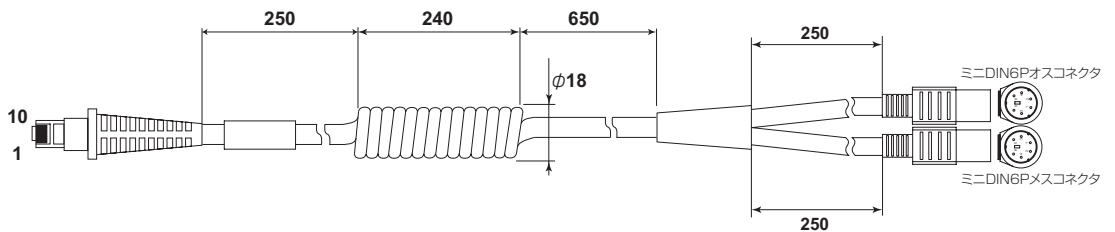
ミニ DIN6P オスコネクタ (CPU 側)		ミニ DIN6P メスコネクタ (KBD 側)	
ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
1	DATA_OUT	1	DATA_IN
2	N.C.	2	N.C.
3	GND	3	GND
4	VCC	4	VCC
5	N.C.	5	N.C.
6	CLK_OUT	6	CLK_IN

● CAB321 SH1738



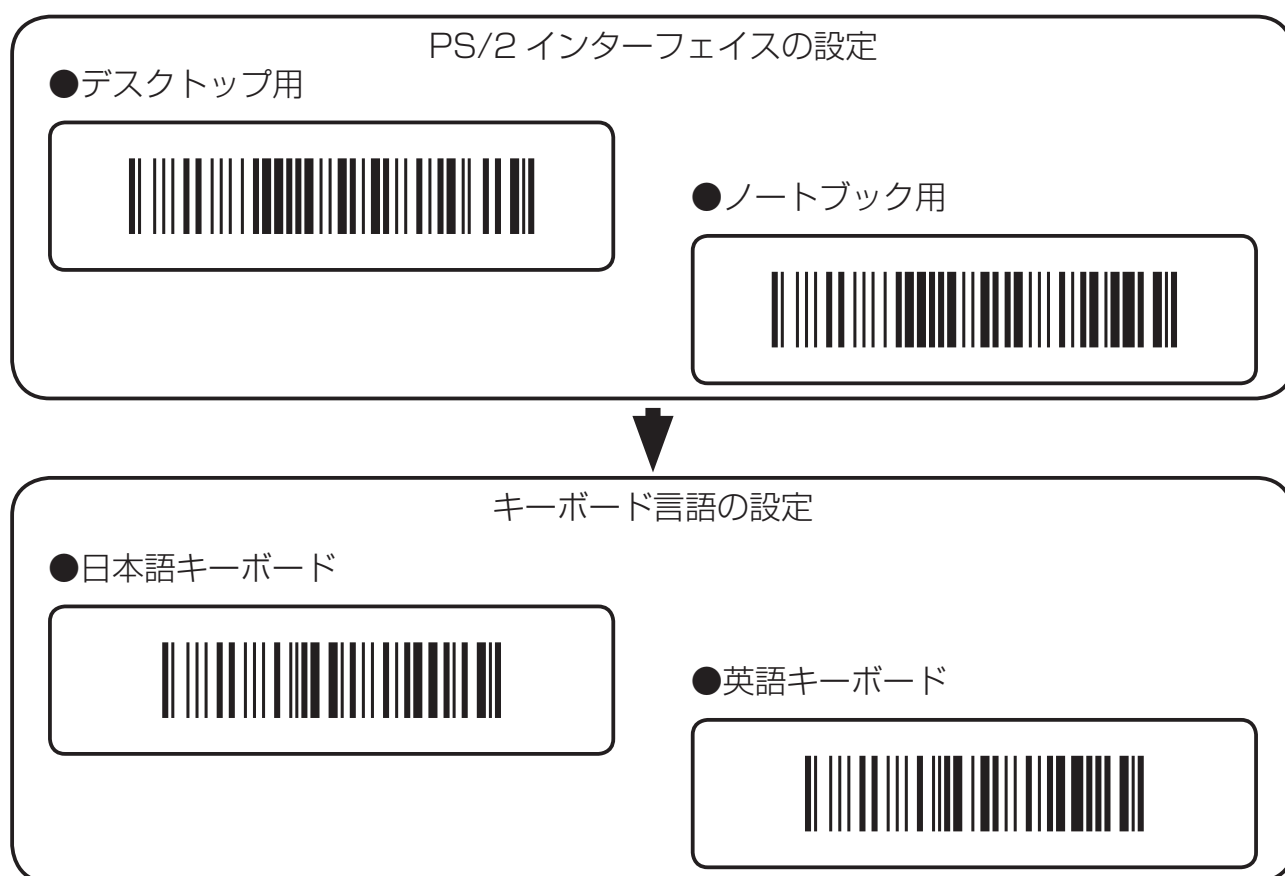
ミニ DIN6P オスコネクタ	
ピン No.	信号名
1	DATA_OUT
2	N.C.
3	GND
4	VCC
5	N.C.
6	CLK_OUT

● CAB365



ミニ DIN6P オスコネクタ (CPU 側)		ミニ DIN6P メスコネクタ (KBD 側)	
ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
1	DATA_OUT	1	DATA_IN
2	N.C.	2	N.C.
3	GND	3	GND
4	VCC	4	VCC
5	N.C.	5	N.C.
6	CLK_OUT	6	CLK_IN

3. PC の電源を ON にして、接続機種に応じた以下のバーコードを読み取ると PS/2 インターフェイスでの使用が可能な設定となります。



4. PC を再起動してから、使用するアプリケーションで実際に読み取ったバーコードデータが正しく表示されるか、キーボードから入力するデータが正しく表示されるか確認をします。もし、上記の設定で読み取りデータが正しく表示されない場合には、以下のバーコード設定を読ませて、正しく表示されるか確認して下さい。



注意

PC を再起動せずに CATCHER を使用した場合、PC の機種によっては正しくデータが入力されない場合がありますので、必ず再起動をしてから CATCHER を使用して下さい。



- PS/2 インターフェイスでご使用の場合の注意事項



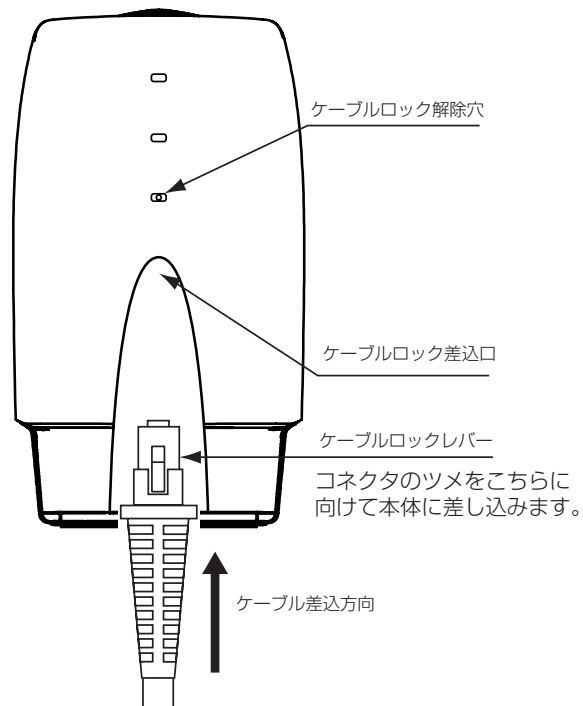
注意

PS/2 インターフェイスでは PC の機種によって、正しく設定をしても CATCHER の読み取りデータが PC に入力できない場合があります。その場合は「12. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

6. セットアップ方法 (USB インターフェイスの場合)

1. CATCHER とインターフェイスケーブルを接続します。

(接続はジャック式となっていますので、本体後部の差込口にケーブルのコネクタ部を“カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)



コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり、曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。

2. ケーブルのコネクタを PC 本体の USB コネクタに接続すると、CATCHER の上部の緑色 LED が点滅して、PC のプラグアンドプレイ機能が起動します。そして、PC で認識が完了すると CATCHER の低音ブザーが“プププ”と 4 回鳴り、バーコードの読み取りが可能となります。



- ・WINDOWS NT/2000/XP については上記の手順にて自動的にドライバソフトが認識されますが、WINDOWS 98SE についてはシステムのインストールディスクが必要となりますので、注意して下さい。
- ・PC が認識できない場合には CATCHER の上部の緑色 LED が点滅状態のままとなり、バーコードの読み取りもできない状態となります。

USB キーボードインターフェイスの設定

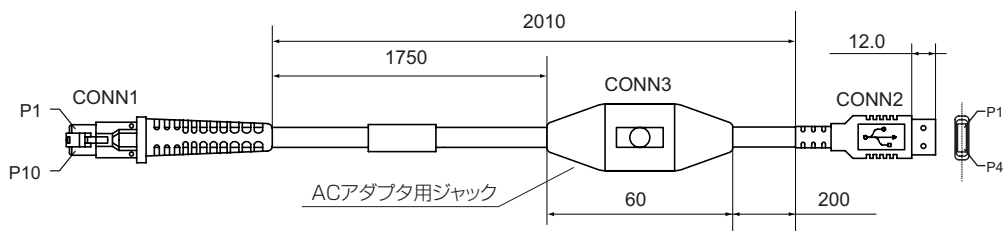
●標準モード



●ALT モード

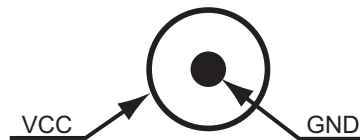


● CAB412

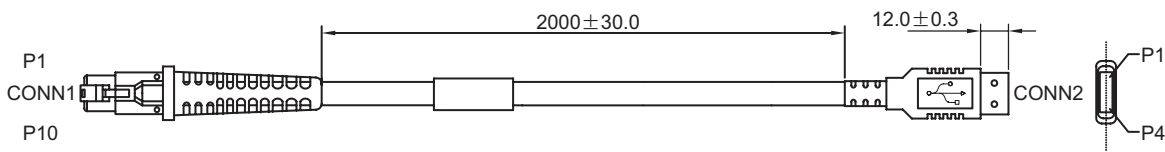


CONN2	
ピン No.	信号名
1	VCC
2	D -
3	D +
4	GND

アダプタ用ジャックピンアサイン



● CAB426

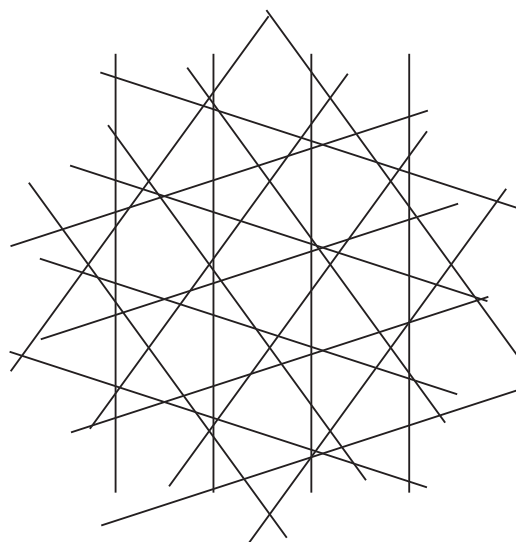


CONN2	
ピン No.	信号名
1	VCC
2	D -
3	D +
4	GND

7. 読み取り操作方法

CATCHERは5方向20ラインのレーザビームが照射窓から出力して自動的にバーコードをスキャンします。CATCHERでバーコードを読み取る時は、図1のスキャンビームラインに対して平行にバーコードを当てるのが理想的です。特にバーコードの高さが小さなバーコードラベルの読み取り時はスキャンビームラインに対して平行にバーコードを当てる事が難しくなるので、バーコードを少し動かしてスキャンビームに対して、平行になる様にして下さい。また、バーコードの長さが長い場合には、CATCHERのビームラインがバーコード全体をスキャンできない場合もありますので、次頁の読み取りエリア図を参照して、ビームラインが十分にバーコード全体をスキャンできるかどうかの確認をして下さい。

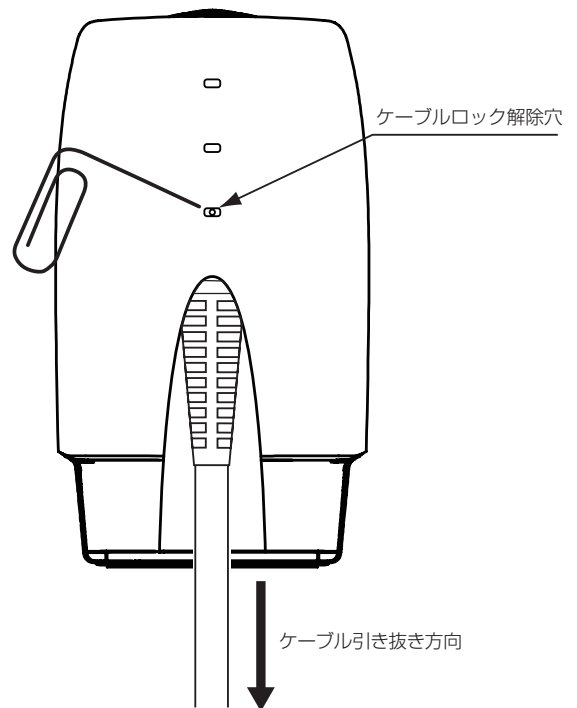
< 図 1 スキャンビームライン >



8. ケーブルの外し方について

CATCHER のケーブルを外す場合には、右図の様にケーブルロック解除穴にゼムクリップの先等を差し込んで、モジュージャックのロックを解除しながら、ケーブルを引っばると簡単に外れます。

1. ピンの先端を差込口に差し込んでモジュージャックのロックを解除します。
2. ケーブルを引き抜き方向に引っばり、コネクタを外します。

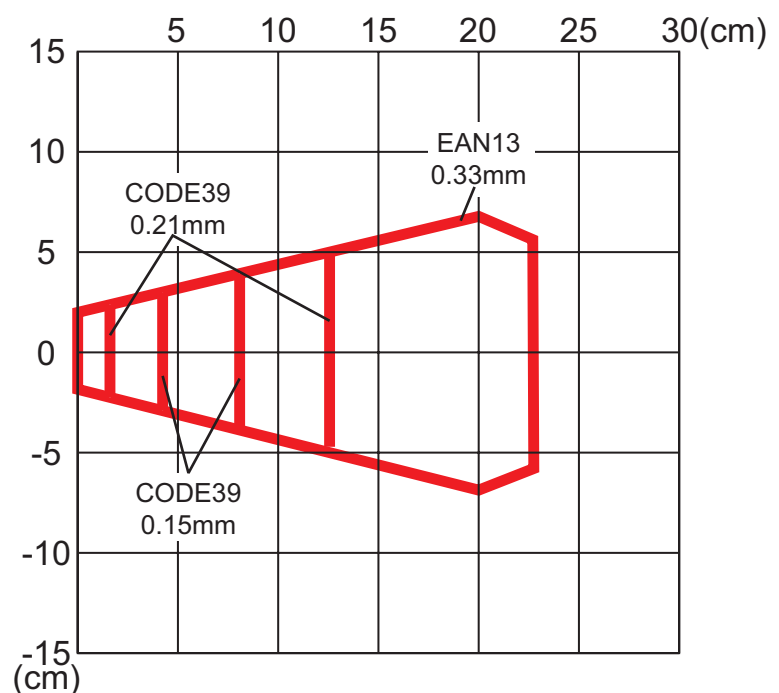


注意

ケーブルを引っばっても簡単にケーブルが外れない場合は、モジュージャックのロックが完全に解除されていない可能性がありますので、再度ピン差込口からロック部の解除を行って下さい。無理な力でケーブルを引っばって抜こうとすると、ケーブルの断線等の原因となりますので、ご注意願います。

9. 読み取りエリア図

CATCHER はバーコードラベルの仕様によって読み取りが可能なエリアが異なります。この章ではバーコードラベルの仕様による読み取りエリア図を表記していますので、ご使用時にはこのエリア内で読み取りを行う様にして下さい。



10. LED とブザー音の表示について

CATCHER は LED とブザー音にて、様々な動作状態を知らせます。また、CATCHER はパラメータ設定によりブザーの音量と音程を制御することが可能です。詳細は別冊「ハンドヘルドバーコードリーダバーコードメニューシート」を参照して下さい。

動作時表示内容	(ブザー音)	CATCHER の状態
電源 ON 時	ブブブ	設定パラメータが正しく読み出しできました。
電源 ON 時	ピピピピ長いブザー音	設定パラメータの読み出しエラーが発生しました。 EEPROM の読み書きエラーが発生しました。
電源 ON 時	ピブピブ	EEPROM のハードウェアエラーが発生しました。
パラメータ設定時	ピピピピ	設定が正しく書き込まれ、設定モードを終了します。
パラメータ設定時	ブ	設定コマンドが正しく読み込みできました。
パラメータ設定時	ブブブ	設定コマンドが正しく読み込みできませんでした。
バーコード読み取り時 ON	1 度のブザー音	* 正しくバーコードの読み取りができました。
バーコード読み取り時 OFF	ブザー音無し	バーコードの読み取り準備ができました。
	ピブピブ	インターフェイスが選択されていません。
	ピブ	送信バッファがいっぱいです。

ピ：高い音程のブザー音 ブ：低い音程のブザー音 *：パラメータ設定により選択が可能です。

11. 初期設定について

CATCHER の初期設定値は以下の通りです。もし、ご使用の条件にこの設定が合わない場合は、別冊「ハンドヘルドバーコードリーダバーコードメニューシート」を使って設定を変更して下さい。



初期設定用バーコード

項目	初期設定値
通信ボーレートの設定	9600bps
パリティの設定	無し
データビット長の設定	8 ビット
ストップビット長の設定	1 ビット
ハンドシェイクの設定	ハードウェア (RTS/CTS)
ACK/NAK プロトコルの設定	無効
FIFO 機能の設定	有効
キャラクタ間ディレー時間	無効
受信タイムアウト時間	5sec
Caps Lock 機能の設定	Caps Lock OFF
キャラクタ間ディレー時間	無効
コード間ディレー時間	無効
コード ID 付加機能の設定	無効
ヘッダーキャラクタの設定	ヘッダー無し
ターミネータキャラクタの設定	(ENTER) キーボードウエッジインターフェイス (CR/LF) RS232 インターフェイス (ENTER) USB インターフェイス
スタンバイ機能の設定	有効
スタンバイ機能切替時間の設定	5min
スリープモードの設定	有効
スリープモード切替時間の設定	60min
セーフティタイマー時間の設定	0.3sec

項目	初期設定値
ブザー音量の設定	ブザー音量 (大)
ブザー音程の設定	ブザー音程 2
シングルラインスキャン時間の設定	5sec
インク滲み読み取り機能の設定	無効
オーバーフローコントロール機能の設定	有効
キャラクタ間ギャップコントロール機能の設定	有効
デコード一致回数設定	一致無し
EAN 8/EAN 13/UPC-A/UPC-E	読み取り許可 (アドオンコードは読み取り禁止)
EAN 8/EAN 13/UPC-A/UPC-E	送信許可
チェックデジット	
コード変換機能の設定	無効
CODE39 スタANDARD	チェックデジット無しで読み取り許可
読み取り桁数の設定	フリー (04 から 99)
2 of 5 インターリーブ	チェックデジット有り, 送信有りで読み取り許可
読み取り桁数の設定	フリー (06 から 98)
CODE128	CODE128 の読み取り許可
読み取り桁数の設定	フリー (01 から 99)

12. トラブルシューティング

この章では、CATCHER が正常に動作しない場合に、確認する事項について記載しています。もしこれらの事項の確認後、正常な動作をしない場合は、お手数ですが巻末の弊社営業担当窓口までお問い合わせをお願いします。

1. 電源を ON にしても動作しない。

電源 ON 時に CATCHER からブザー音が鳴らない。

● RS232C インターフェイスで使用の場合

⇒使用電源は CATCHER の仕様に合っていますか？

- ◆電源の極性・電圧・容量を仕様に合わせて下さい。または専用 AC アダプタ (UL310-0515) を使用して下さい。

⇒通信ケーブルの外部電源用のソケットとプラグが完全に接続されていますか？

- ◆プラグを奥まで完全に接続して下さい。

⇒通信ケーブルのモジュラープラグが完全に CATCHER に接続されていますか？

- ◆モジュラープラグのツメが「カチッ」と鳴るまでケーブルを完全に接続して下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

- ◆ケーブルを新しいものと交換して下さい。

● キーボードウエッジ / USB で使用の場合

⇒通信ケーブルのコネクタは全て接続されていますか？

- ◆コネクタを全て完全に接続して下さい。

⇒通信ケーブルのモジュラープラグが完全に CATCHER に接続されていますか？

- ◆モジュラープラグのツメが「カチッ」と鳴るまでケーブルを完全に接続して下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

- ◆ケーブルを新しいものと交換して下さい。

電源 ON 時に CATCHER からブザー音が鳴っている。

⇒ "プププ" と低音で 4 回鳴っている

◆ CATCHER は正常に動作できます。

⇒ "ピピピピ" と高音で 4 回鳴っている

◆ CATCHER の内部に問題があります。(修理が必要です。)

⇒長い音が鳴っている

◆ CATCHER の内部に問題があります。(修理が必要です。)

⇒ "ピプピプ" とブザーが 4 回鳴っている

◆ CATCHER の内部に問題があります。(修理が必要です。)

2. レーザビームは点灯しているがバーコード読み取りができない。

⇒読み取り距離や読み取り角度は CATCHER の仕様の範囲内にありますか？

◆バーコードを CATCHER の仕様の範囲内に移動させて下さい。

⇒ CATCHER の設定でバーコードシンボルが正しく設定されていますか？

◆ CATCHER の読み取りバーコード設定を使用しているバーコードシンボルに合わせて下さい。

⇒使用しているバーコードの品質に問題がありませんか？

◆バーコードの品質を改善して下さい。

4. 読み取ったバーコードデータが送信されない。

● RS232 インターフェイスで使用の場合

⇒インターフェイスのパラメータは接続機器の仕様に合っていますか？

◆ CATCHER のパラメータを接続機器の仕様に合わせて下さい。

⇒ケーブルの各信号線は接続機器の仕様に合っていますか？

◆接続機器の信号線を CATCHER の仕様に合わせて下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

◆ケーブルを新しいものと交換して下さい。

● USB インターフェイスで使用の場合

⇒接続している PC が CATCHER を認識していますか？

◆ドライバーソフト等をインストールしてデバイスとして認識できる様にして下さい。

⇒ CATCHER の USB 設定が仕様に合致していますか？

◆ CATCHER の USB 設定を仕様に合わせて下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

◆ケーブルを新しいものと交換して下さい。

● キーボードウエッジで使用の場合

⇒接続している PC のタイプと設定が合っていますか？

◆ CATCHER 設定を PC のタイプに合わせて下さい。

⇒接続している PC のキーボードから入力できますか？

◆ PC 本体の電源を一度 OFF にしてから再度 ON にして下さい。

⇒データの送信速度が速すぎませんか？

◆別冊の「バーコードメニューシート」の「キャラクター間ディレイ時間」の設定を変更してディレイ（遅延）時間を発生させて PC 側の処理時間に合わせて下さい。

5. 以上の処置を行った後でも、状況が変わらない。

何らかの故障の場合もありますので、お手数ですが巻末の弊社営業担当窓口までご連絡をお願いします。

13. 保守

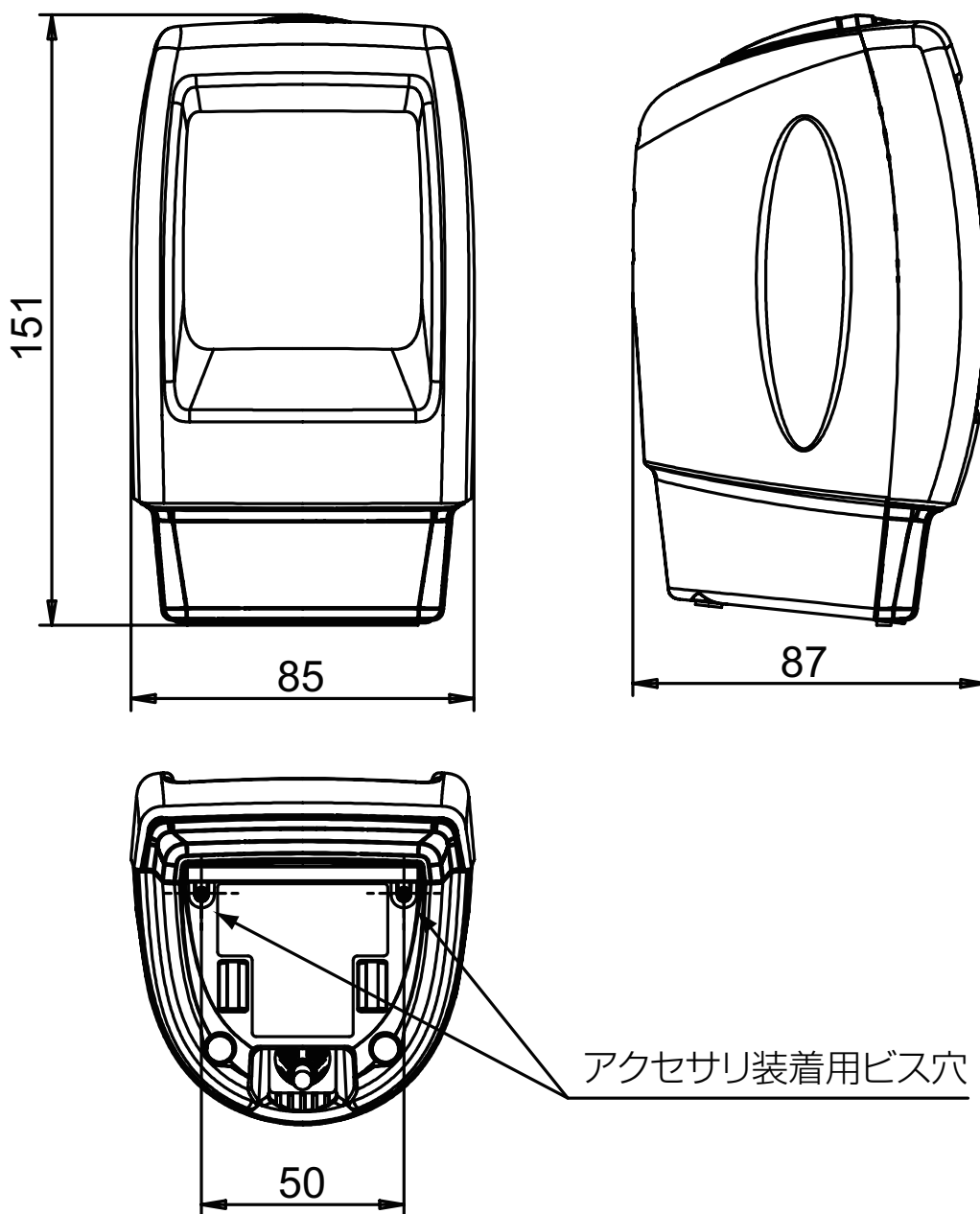
CATCHER の読み取り窓が汚れている場合、読み取り性能が低下しますので以下の方法にて清掃を行って下さい。

- ・水や無水アルコール等で湿らせた柔らかい布等で軽く汚れを拭き取って下さい。

14. 仕様

電源電圧	DC5V ± 5%
消費電流値	通常 360mA(DC5V 時)
インターフェイス	RS232 / USB / PS/2 キーボードウェッジ
読み取り確認	LED 表示 / ブザー
光源 / 波長	赤色半導体レーザダイオード / 680nm
スキャンパターン	5 方向 / 20 本
スキャン速度	1,500 スキャン / 秒
読み取り距離	読み取りエリア図を参照
最小分解能	0.12mm
最小 PCS 値	0.27(テストチャートでの読み取り)
読み取り可能なコード	ITF, Code11, Code39, Code93, Code128, EAN128, ISBT128, EAN/JAN/UPC, ISBN/ISSN, Codabar 等
パラメータ設定方法	バーコードメニューシートによる設定 RS232 ポートからコマンド送信による設定
動作温度	0 °C ~ + 40 °C
保存温度	- 20 °C ~ + 70 °C
湿度	90%(但し結露なきこと)
耐落下衝撃	1.2m の高さからコンクリート面への落下後、読み取りが可能
ESD 保護	16KV
保護構造	IP40
外形寸法 (本体のみ)	87mm × 85mm × 150mm
重量 (本体のみ)	約 340g

15. 外形寸法図



IDEC DATALOGIC 株式会社

本 社 大阪府大阪市淀川区西宮原 1-7-31

Phone 06-6398-3200

Fax 06-6398-3202

東 京 東京都港区港南 4-1-8 リバーージュ品川 12 階

Phone 03-5715-2177

Fax 03-5715-2178

名古屋 名古屋市千種区今池 4-1-29 ニッセイ今池ビル

Phone 052-732-1561

Fax 052-732-1562

URL <http://www.idljp.com>

No.0703